

セブ・プログラムアンケートのお願い

この度は CEC のプログラムにご参加いただき、ありがとうございました。

このアンケート用紙にご入力・記入のうえ、写真を数点 CEC までメール添付にてご提出下さい。

ご郵送の場合は、写真を同封のうえ、ご記入頂いたアンケートと共にご送付下さい。

薄謝ではございますが、商品券をお送りさせて頂きます。ご協力お願いいたします。

(パソコン入力をご希望の方はお知らせ下さい。メール添付にてこの用紙をお送りいたします。  
どれだけ長くなても大丈夫です。スペースが足りなければ増やしてご記入下さい。

参加期間：H24 年 8 月 8 日～8 月 21 日 2 週間

参加動機：以前ニュージーランドへホームステイしたことがあり、これから就職する上で  
海外の貧困層の実態を知っておきたいと思ったから。

ボランティア活動に関して：

活動先施設の名前

マサテレサ孤児院

具体的な活動内容とスケジュールを教えてください。時間に関してはおよそで結構です。

午前中 8:30～11:30 すぎくらいまでの活動でした。

活動内容は子供達と遊ぶことがおもな仕事で、後はごはんを食べさせたり、  
お風呂に入れたりしました。

活動中のエピソード：難しかったこと、楽しかったこと、感心したこと、困ったこと等、何でも  
お聞かせ下さい。

言葉が通じなかったことが一番困りました。英語が話せる子が少なかったので  
子供達が私達に伝えたいことは何か理解できないことが大変でした。

歳上の子が小さな子のめんどりをよくみている所は感心しました。よく先生のおきほい  
もしていました。

特に子供たちと遊ぶため、又は何かを教えるために、事前に用意されたこと・教材等ありました  
ら、参考までに教えてください。

特に用意した物はありませんでしたが、おり紙の本等 はいるなと思います。  
日本の遊びを覚えていくといいです。

生活面に関するご質問：

滞在先ホテルについてはいかがでしたか。

想像してたよりよかったです。私が宿泊したところはお湯も出る所だったのですが  
ちゃんとシャワーもあびれました。水の出は悪かったけど……。

滞在先ホテルからボランティア先までの移動手段（タクシーでの所要時間・料金など）を教えて  
ください。

タクシーで 15～20分くらい 片道 100ペソ

食事はどのようにしましたか、料金は？

朝はホテルで出してもらえたのでそれを食べました。昼は、ショッピングセンターのフードコート  
などで 100ペソくらいあれば食べれました。夜は、コーディネーターとよくご飯を食べにいきました。  
だいたい 200～300ペソあれば充分お腹いっぱいになりました。でも、これはかなり  
せいたくしてるんで 100ペソくらいあれば一食分食べれます。

滞在した地域でお勧めの場所は？（お店・レストラン・ショッピングモールなど）

アラヤマーケットは洋服などすべてそろうのでおすすめです。

コーディネーターのセッションに関して：（○で囲んでください）：

非常に良かった

良かった

普通

良くなかった

悪い

感想：

毎日夜にホテルまで会いにきてくれました。一時間から二時間くらい  
グリーフのメンバーと一緒にディスカッションして英語力も少し上がったと思います。  
また、よくショックを言って場の雰囲気をなごましてくれたりと多くの場面で  
サポートしてくださいました。よく晩ご飯と一緒に食べに行ったりして、フィリピン  
の文化なども教えてくれました。

オプショナルツアーに参加された方へ

どこに行かれましたか？ どれくらい時間・料金がかかりましたか。

例) モアルボアルでダイビング 5時間で 約 1,500 ペソ

例) カオハガン島 2泊3日 約 10,400 ペソ

マクタン島でダイビング 4,200ペソ

ボホール島一日ツアーパー 3,800ペソ

その感想をお聞かせ下さい。

人生で初めてダイビングをしましたがとても楽しかったです。私は耳ぬきができます最初は他のメンバーより少し上の方で泳いでいたのですが魚達にえづけしたりと充分楽しめました。

オプションのプライベート英語レッスンを受けられた方へ  
レッスン内容はいかがでしたか。

どれくらいの時間数、レッスンを受けられましたか。

ホテル又はボランティア先から英語学校まで、どのように移動されましたか。料金は?

最後に、今回海外でのボランティアプログラムに参加しての感想をお願いいたします。

日本とはかけ離れた生活にカルチャーショックを受けながら過ごしました。日本がどれほど豊まれ、豊かな国であるか再発見しました。また、自分がこれから発展途上国へ何ができるのか考えさせられました。直接現地へ行ってボランティアすることだけがボランティアではないと思うので困っている人に対して自分は何ができるのか、何をすべきなのか考えていきたいです。

私は、グリーフォローグラムでの参加口だったので、メンバーが同じ年代で普段は全然違う学部を専攻している学生だったので新しい視野を広げることができ、とてもいい刺激になりました。

2週間という短い期間だったので子供達とも慣れてきた頃に別れることになりました。とてもさみしかったです。将来、子供達に再会する時はもうちょっと力をつけて成長した自分で会いに行きたいです。

ご自身がフィリピンで撮られた写真など、お貼り頂き、その写真の説明文も加えて下さい。

いただいた写真は今後参加される皆さんのが利用させて頂きます。さしつかえない範囲で結構ですので、現地の人たちとの交流している場面などいただけましたら助かります。よろしくお願ひします。(お写真は貼り付けず同封でも結構です。)

今後このプログラムに参加する人たちの為に:

持参したほうが良いもの(生活のうえで、又ボランティア活動のために)

シャンプーやリンスは絶対必要です。

ホケントッシュ、ウェットティッシュ、虫よけスプレーもあった方がいいです。  
ボーラーとかなわとびとか身体を動かすものを持っていくと子供達は喜びます。

ボランティア先での心得(注意すべき点、やってはいけない事、やったほうが良かった事など)

子供をおんぶすることは危険なため、やつてはいけなかったです。

自分から率先して手伝いに行なったほうが良い。

衛生面、食べ物、飲み物などで気をつけたほうがよいと思ったこと

水道水は飲めないので必ず水を買うこと。

油っぽい食事が多いため胃もたれする可能性がある。

ご飯を食べる前は手洗いなど消毒してから食べるべき。

ただ外で遊ばない

ので室内で遊べる

おもちゃがいいです。



ご協力ありがとうございました。

ご参加時年齢: 20歳以下、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳以上

性別: 男性

女性

(該当箇所に○をお願いします。)